

# 安全・安心通信

第23号

平成27年3月発行

## 安全は地域のきずなと あなたの意識



岡山県マスコット  
「ももっち」・「うらっち」と仲間たち

### 防犯ボランティア特集号

今回は、県の取組事例、県内で特色のある活動に取り組んでいる団体や、学校と地域が緊密に連携した先進的な取組をしている11団体の活動を紹介します。  
地域における安全・安心なまちづくりを進める参考にしてください。

中仙道新屋敷安全パトロール隊（岡山市北区）	2ページ
大野学区自主防犯パトロール隊（岡山市北区）	2ページ
芳明見守り隊（岡山市南区）	3ページ
赤磐警察署管内地域安全推進員協議会瀬戸班（岡山市東区）	3ページ
田井小学校防犯パトロール隊（玉野市）	4ページ
第三福田小学校区見廻組（倉敷市）	4ページ
新山地域安全パトロール隊（笠岡市）	5ページ
美川地区安全安心を守る会（矢掛町）	5ページ
巨瀬地域安全推進委員会（高梁市）	6ページ
阿波地域防災防犯会（津山市）	6ページ
美咲警察署管内地域安全推進員協議会加美班（美咲町）	7ページ

取材に御協力いただいた団体の皆様、ありがとうございました。  
くらし安全安心課のフェイスブックでも紹介していますので、ぜひ御覧ください。

### 自主防犯★スタートアップ講座、防犯力診断を実施

2月7日（土）岡山県生涯学習センターで、平成26年度第2回「自主防犯★スタートアップ講座」、「防犯力診断」を開催し、約90名の方が参加しました。

講座では、「うさぎママのパトロール教室」を主宰する、安全インストラクターの武田信彦さんを講師に迎え、『子どもたちの安全を守る！防犯パトロールのコツとは～防犯ボランティアが育む地域の安全と安心～』と題して講演が行われました。効果的な実践方法、マナーを防ぐための工夫、地域との関わり方など、武田先生の実体験に基づいた、大変貴重なお話をいただきました。

講演に引き続いてのワークショップでは、新聞紙を丸めた棒を使い、知らない人と相対する際の安全な距離について学びました。新聞棒2本を二人で人差し指で支え合ったときの距離（90cm～1m）が、コミュニケーションはとれるが大人が手を伸ばしても触れられない距離であり、この距離を保つことが大切ということでした。実際に参加者同士でペアとなり、新聞棒を支え合いながら移動するなど、安全な距離感をつかむための練習をしました。また、この距離感は、パトロール中に子どもに声かけをする際に、不審者と間違われないようにするためや子どもを怖がらせないようにするためにも有効であるとのことでした。



講座の後には、希望者による「防犯力診断」が行われ、防犯に関する条例、指針、マニュアル、防犯カメラのガイドラインなどから出題された50問の○×問題に45名が挑戦しました。マスターから3級までのバッジ取得に向けて、平素の知識や経験を生かし、熱心に取り組んでいただき、今回、初めてマスター取得者が誕生しました。

皆さんも、48点以上のマスターを目指して、是非チャレンジしてください。



<今回のバッジ取得者> マスター 1人・1級 6人・2級 29人・3級 9人

## 中仙道新屋敷安全パトロール隊（岡山市北区）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 17 年 6 月
- **結成の経緯**  
町内に小学校があることや、地域区画整理により車両の乗り入れが多くなったことで、児童の登下校に安全を守ることが難しくなったこと、マンションやアパートが多く建設されたことにより、見知らぬ人が増えて、不審者の見極めが難しくなったため
- **団体の構成等**  
(代表) 大畑 國光 氏  
(構成) 新屋敷町内会役員が中心 約 20 人
- **活動区域**：新屋敷町内
- **主な活動内容**  
・青パトによるパトロール  
・朝昼夜の見守り活動（定例活動として月曜日の夜、木曜日の下校時）



### 朝のあいさつ 夜の目配り 安全に

町内に岡山市立西小学校があり、小学校の安全確保に努めたいという気持ちで新屋敷町内会が立ち上がり、毎月小学校のスケジュールに合わせて、朝・昼・夜のパトロールを行い主要道路の交差点での見守りを行うことで安全確保に努めています。

寒さが身に染みる1月の午後7時、元気な笑い声のある中仙道新屋敷安全パトロール隊が集まり、徒歩と青パトによるパトロールに出発しました。暗闇で燦然と光るベスト。そして、手には赤や青に点滅するスティック状の誘導灯。それは、犯罪の抑止効果が抜群でした。

町内の電柱にはほとんど防犯灯が設置されており、防犯灯が切れていないか、危険箇所はないかなどに目を配り、約1時間町内をくまなく見回りました。

代表の大畑さんは、「町内として地域の安全がとても大切。今年4月からは、町内が安全・安心であるよう、町内環境の整備にも取り組んでいきたい。」と熱意を語りました。

一方、パトロール隊では、メンバーの数が減少しているという課題もあります。

大畑さんは、「『ジジババ』から、『パパママ』へ若い方の力をいただきたい。」と今後の人員の増加の工夫に努め、町内会員が一人でも多く参加できるように、各班で見回り活動に取り組んでいます。



## 大野学区自主防犯パトロール隊（岡山市北区）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 17 年 1 月
- **結成の経緯**  
小学校児童通学路の安全確保及び大野学区内のひたくり、侵入窃盗等の犯罪の抑止のため
- **団体の構成等**  
(代表) 今田 護 氏  
(構成) 町内会、PTA 役員等 114 人  
うち青パト隊員 60 人（平成 26 年度）
- **活動区域**：大野小学校区
- **主な活動内容**  
・小学校児童の登下校時の見守り・安全指導  
・青パトによるパトロール（毎日、午後 3 時から午後 5 時の間に 1 時間程度）  
・要警戒日に緊急パトロールを実施



### 自分たちの地域は自分たちで守る

大野学区自主防犯パトロール隊は、児童の登下校時の見守り、青パトによるパトロールを重点的に実施しています。

昨年11月19日(水)、一斉統一活動日として、下校時の見守り活動が行われました。

小学校校門で集団下校する子どもたちに、「さようなら。」「手を出して歩こうで。」と笑顔で一人ひとりの顔を見ながら声掛けをし、パトロール隊の方も地区ごとに分かれて活動をしました。交通量が多い交差点では、代表である今田さんが、先回りをして、安全に横断ができるように注意します。

また、放課後の学童保育が終わって下校する子どもに合わせ、見守り活動が行われています。

パトロール隊を立ち上げた猪原さんは、「子どもの安全を守るためには、継続することが大切。大変だけれど、良いことをどんどん取り入れてパトロールをしていきたい。」と今後の抱負を語りました。

## 芳明見守り隊(岡山市南区)

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成19年4月
- **結成の経緯**  
子どもに対する犯罪が多いことや、自分たちの地域は自分たちで守りたいと考えたため
- **団体の構成等**  
(代表) 伏見 公誠氏  
(構成) 見守り隊 28人  
パトロール隊 約40人
- **活動区域**：芳明小学校区
- **主な活動内容**
  - ・青パトでパトロールすることで環境浄化を図る。  
(朝は毎日、夜は週3～4回)
  - ・見守り活動(毎日下校時)
  - ・啓発活動(チラシ・声掛け)
  - ・独居高齢者訪問



### 誰にでも声掛けのできる 街づくり

芳明見守り隊は、青パト9台隊員28名の「見守り隊」パトロールと、30～40人の「パトロール隊」による登下校時の見守りを重点に活動を行っています。

今年1月17日(土)の午前7時30分から、登校する児童の安全確保とあいさつ運動を行いました。芳明学区には国道2号線があり、交通量が多く、大きな交差点があるため、登下校時には芳明見守り隊を始め、PTAや地域住民が児童を見守ります。隊員たちは、横断歩道がある交差点に立ち、児童の安全確保に努めると同時に自転車に対しても、自転車横断帯を渡るよう笛を吹いて促したり、イヤホンをして自転車に乗らないよう声掛けをしたり、地域住民のサイクルマナーアップの働きかけを行いました。

あいさつ運動では、「地域でのあいさつ運動を活性化してほしい。声掛けをお願いしたい。」と小学校より依頼を受けました。

隊員が「おはよう。」とあいさつをすると、児童からも「おはようございます。」と元気のよいあいさつが何倍にも返ってきます。「顔見知りになることで、あいさつをしてくれるようになった。」と隊員たちは笑顔を見せます。

代表の伏見さんは、学校を始め、町内会、老人クラブ、社会福祉協議会など各種団体とのつながりを密にしています。各会合にも出席し、意識をもってもらえるよう声掛けをしたり、協力してもらえるよう依頼をするなど、犯罪のない芳明学区を地域住民みんなで目指しています。



## 赤磐警察署管内地域安全推進員協議会瀬戸班(岡山市東区)

### 団体のプロフィール

- **結成**  
平成9年7月
- **団体の構成等**  
(代表) 藤村 憲弘氏  
(構成) 7人
- **活動区域**  
岡山市立江西小学校区
- **主な活動内容**
  - ・JR瀬戸駅周辺の防犯活動
  - ・青少年の健全育成活動



### 地域の健全育成のために

月に一度、午後6時に集合して、定例活動である夜の見回りを行っています。

昨年12月18日(木)の定例活動日には、瀬戸班のメンバーと赤磐警察署少年補導員による情報交換や、「自転車の鍵をかけるように呼び掛けよう。」「自転車のマナーを注意しよう。」と注意事項の確認などミーティングを行って、夜のパトロールへ出発しました。

各駐輪場を回り、「二重ロックしているか」一台一台指さし確認をしました。各駐輪場には瀬戸班が作成した看板が設置されており、防犯の意識を高めることができます。

JR瀬戸駅に到着すると、電車や迎いの車を待つ生徒たちに、優しい笑顔で「早く帰るんよ。」「あんまり遅くならんようにな。」と声を掛けました。駅に生徒が溜まっているときには、「学校はどうか。」と声を掛けたり、駅を利用するためのマナーを教えています。

このような活動の継続により、自転車の二重ロック率が高くなったり、地域の生徒たちが駅に溜まらなくなったり、「ただいま。」とあいさつを交わすようになってきました。また、今年1月10日(土)の110番の日には地域の高校・大学生と一緒に駅や大学、スーパーマーケットで防犯キャンペーン活動を行いました。



## 田井小学校防犯パトロール隊（玉野市）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 18 年 1 月
- **結成の経緯**  
全国的に子どもに対する犯罪が続発し、その対策の一環として活動を開始
- **団体の構成等**  
(代表) 長原 巧 氏（玉野市立田井小学校長）  
(構成) 田井小学校ボランティア 35 人
- **活動区域**：田井小学区
- **主な活動内容**  
・見守り活動  
・あいさつ運動  
・清掃パトロール



### 教育のための社会づくり～安心安全のために～

冷たい雨が降る朝、校門で見守り活動が行われました。隊員の「おはよう。」という気持ちの良いあいさつに、子どもたちも元気にあいさつをして登校しました。

学校に着くと、児童が自主的に始めた「あいさつがんばり隊」も加わって、活動が始まりました。校門で互いにあいさつをすることで、地域住民の方と顔見知りになり、困ったときにもすぐに助けを求め、あいさつをすることで学校と地域がつながり、地域が活性化されるのです。

雨が降る週明けの朝ということもあり、隊員は、児童一人ひとりに寄り添いながら、学校まで付き添い、子どもの様子を校長に連絡するなど、連携を密にしています。

「子どもから元気なあいさつが返ってきたり、ハイタッチしてくれると嬉しい。子どもの顔を見ると元気が出ます。」と子どもたちとのつながりを原動力に活動しており、「地域の宝である子どもをみんなで守りたい。」という言葉から活動に対する意気込みが伝わってきました。

長原校長は、「ありがたいことです。地域に見守ってくれている人がいると安心。学校全体の安心にもつながります。」と話していました。

これからも子どもたちのために活動を続けていきます。



## 第三福田小学校区見廻組（倉敷市）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 17 年 10 月
- **結成の経緯**  
小学校通学路の安全確保や、児童や地域の人が犯罪防止に向けての意識を高めたり、不審者に対して警告を行うため
- **団体の構成等**  
(代表) 中田 歳光 氏  
(構成) 第三福田小学校の防犯ボランティア 35 人
- **活動区域**：第三福田小学校区
- **主な活動内容**  
・見守り活動（毎日、登下校時）  
・青パトによるパトロール  
・あいさつ運動、立哨



### 小学校との連携で地域の子どもを守ろう

「子どもたちが、事件や事故に遭わずに家に帰ることができるのが一番。」と強く願っている第三福田小学校区見廻組のみなさん。毎日、登下校時に見守り活動と青パトによるパトロールを行っています。

見守り活動では、各学年の下校時間に合わせて何度も学校と地域を往復する隊員もいます。青パトでは、通学路全てをくまなくパトロールしています。「自分たちができることはしたい。」という思いで、登下校時以外の時間帯にも青パトに乗車して、第三福田小学校区の犯罪抑止に努めています。

今年1月31日（土）、隊員と学校教職員による情報交換会が開催されました。情報交換をすることが、児童の安全・安心な登下校、地域での生活を考える絶好の機会となっています。

情報交換会では、隊員から「朝の登校時に気持ちよいあいさつができるようになった。」「道草を食う子どもがいる。」などといった意見が出たり、危険場所の報告をしたりしました。学校からは、「地域の方に支えられていることで、事件や事故なく、怖い思いをする子どもがいなかった。」「一人ひとりのことをよく見てくれ、子どもたちは幸せだ。」と感謝の言葉を伝えました。

これからも地域の子どもの安全のため、小学校との連携を大切にして、活動を続けていきます。



## 新山地域安全パトロール隊（笠岡市）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 16 年 8 月
- **結成の経緯**  
全国的に子どもたちが犯罪や事故に遭うことがあ  
る中、自分たちの地域は自分たちで守ろうという気  
運が高まった。
- **団体の構成等**  
(代表) 山崎 元明 氏  
(構成) 地域安全推進員、交通警察協助手員、  
PTA 等 27 人
- **活動区域**：新山地区内全域
- **主な活動内容**
  - ・ 青パトによるパトロール（週に 1 回）
  - ・ 登校時、一斉下校時の見守り活動
  - ・ 夏祭りや公民館祭りでの啓発、PR 活動



### 気楽に 気長に 危険なく

新山地域安全パトロール隊は、毎朝の登校時、一斉下校時の見守りと青パトによるパトロール（月 8 回）を重点的に活動しています。

昨年 12 月 26 日（金）、二学期の終業式を終えて下校する児童が笠岡市立新山小学校の校庭に集まりました。隊長の山崎さんから、児童に「交通ルールを守って歩きましょう。自転車に乗る時はヘルメットをかぶって、必ずあごひもをしましょう。ヘルメットはみんなの命を守るんだよ。」と交通安全の話をしました。児童は真剣に聞き大きな声で返事をし、安全に気を付けることを約束しました。

この隊は、小学校との交流の機会が多く、防犯教室での不審者対策や交通安全教室での横断歩道の渡り方・自転車の乗り方指導を行っています。その他にも、小中学校 PTA・消防団・自治会等とのクリーン作戦での環境浄化や公民館祭りでの啓発など、多くの場で活躍しています。

「朝のあいさつや交通指導、青パトでのパトロールなど積極的に活動をしてくださることに感謝している。」と山本校長。

今後も小学校とのつながりをもち、犯罪の起きにくい地域づくりを目指します。隊員全員の活動の源は、子どもたちの笑顔と会話です。「できるときにできること」をモットーに活動を続けていきます。



## 美川地区安全安心を守る会（矢掛町）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 17 年 6 月
- **結成の経緯**  
子どもに対する犯罪が多く、特に大阪の小学校で児童殺傷事件があり、地域で防犯活動をしていきたいと思った。
- **団体の構成等**  
(代表) 三好 政志 氏  
(構成) 美川地域安全協議会、地域安全推進員 8 人
- **活動区域**：美川地区
- **主な活動内容**
  - ・ 青パトによるパトロール
  - ・ 小学校児童の一斉下校での見守り活動



### 地域の安全は自分たちで守ろう！

定例活動日（毎週水曜日）であるで昨年 12 月 17 日（水）、青パトに乗車した隊員が続々と集まりました。青パト 6 台により、小学校児童の一斉下校の見守りを行いました。児童が住んでいる各地区に到着するまで、下校集団の近くで見守り、手厚い活動をしています。

会長の三好さんは、「都合のつく時には無理のない範囲で持ち場を回っていきたい。」と定例活動日以外は、地域住民のために各自で一時間程度パトロールをしており、夏休み等小学校が休みの間も活動を続けています。

青パトの車載スピーカーや、有線で「児童の下校時刻には家の外へ出よう。」という見守りの呼び掛けにより、地域全体で児童の安全を守っています。

青パトでパトロールをしていると、地域住民から「回転灯が光っていたり、放送を聞いたりすると安心する。」「また見回りに来てよ。」と声をかけられるなど、地域の人々から高い信頼を得ています。

高齢化のため後継者育成の課題はありますが、パワーを発揮して、これからも地域や子どもたちの安全・安心のために活動を続けていきます。



## 巨瀬地域安全推進委員会（高梁市）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 17 年 10 月
- **結成の経緯**  
平穏で静かな地域であるが、住居が点在し人目が少ない中山間に住む高齢者が悪質商法被害や、隣の地域で子どもへの声掛け事案等があり、地域住民への注意喚起と広報啓発の必要を感じたから
- **団体の構成等**  
(代表) 野口 壽彦 氏  
(構成) 地域安全推進員、ボランティア 18 人
- **活動区域**：巨瀬地域
- **主な活動内容**
  - ・ 防犯パトロール（小学校の児童が下校する時間帯）
  - ・ 小学校のクリーン活動の安全管理（11 月）
  - ・ 小学校のマラソン大会の安全管理
  - ・ 巨瀬地域の「ふれあい広場」での啓発活動

### 安全・安心で美しいまち

巨瀬地域安全推進委員会（通称巨瀬防犯パトロール隊）は、地域の安心のために活動をしており、青パトによるパトロールで「安全・安心なまち」と、クリーン作戦やチラシ配りで「美しいまち」の2本柱が活動の基本となっています。

高梁市立巨瀬小学校の児童の下校時刻に合わせ、青パトによるパトロールを行っています。パトロール中には、児童が安全に下校しているか、ゴミの不法投棄がないか、ということに特に気を付けています。防犯パトロール中は、青色回転灯を点灯させ、スピーカーで地域の方に防犯の呼びかけをすることで、防犯意識の高揚と犯罪抑止につながることを狙っています。

実際に、一人暮らしのお年寄りを狙った悪質な訪問販売がありました。青パトの放送を聞いて訪問販売業者が帰り、未然に防ぐことができました。地域の人からも「放送のおかげだ。」と感謝されるなど、犯罪の抑止力と安心感につながっています。こうした活動を続けることで、犯罪企図者が、地域に入りにくい環境を目指します。

また、町内クリーン作戦で環境浄化をしたり、ふれあい広場で、ごみのポイ捨て防止のチラシ配りで広報啓発をするなど、目の行き届いたまちづくり活動も行っています。

隊長の野口さんは、「今まで巨瀬に犯罪がないからといって、安心しきってはいけません。」と気を引き締めました。児童と地域の方の元気な顔と、交流が巨瀬防犯パトロール隊を支えています。「ありがとう。」という感謝を胸に活動を続けます。



## 阿波地域防災防犯会（津山市）

### 団体のプロフィール

- **結成**：平成 19 年 3 月
- **結成の経緯**  
自分たちの地域は自分たちで守ろうという思いや、津山市からの要請があった。
- **団体の構成等**  
(代表) 小椋 懋 氏  
(構成) 町内会、消防団、民生委員会、PTA、老人クラブを始め、地域内各種団体と地域住民防犯会には 70 人。うち、青パト隊員は 21 人
- **活動区域**：阿波地域
- **主な活動内容**
  - ・ 青パトによるパトロール（毎週木曜日）
  - ・ 高齢者宅訪問

### みんなでつくろう 安心のまち 阿波

阿波地域防災防犯会は、青パトで点在している集落への巡回と高齢者の安否確認に重点を置いて、活動を行っています。

会長の小椋さんは、「阿波地区の5割を占める高齢者を、いかに守るか。」という強い責任感を胸に、会員が協力して活動を続けてきました。

特に、独居高齢者が多く、パトロール中の車内では、「カーテンが開いているから大丈夫じゃ。」「〇〇さんのところはドアが閉まっている。どうしたんかな。」と一軒一軒の安否確認をしたり、「〇〇さんのところは今一人暮らし。」「あそこは空き家になっている。」など、全員が絶えず情報交換をしています。

秋の全国地域安全運動期間中には、警察のパトカーと一緒に青パトも地域を巡回し、高齢者宅に新米の弁当とチラシを配布し、「押し売りには気を付けてくださいね。」「おかしいと思ったらすぐに警察に連絡してください。」などと防犯意識を高めるための呼び掛けをしました。

青パト6台を所有しており、放送により狭い地域をくまなくパトロールすることで目が行き届き、犯罪者が出没することもなく、地域の高齢者からも高い信頼を得ています。



# 美咲警察署管内地域安全推進員協議会加美班（美咲町）

## 団体のプロフィール

- **結成**：平成9年4月
- **結成の経緯**  
地域安全推進員から、「地域の安全・安心のために、行動に移そう」という声上がり、JR亀甲駅でのあいさつ運動を始めたことがきっかけとなった。
- **団体の構成等**  
(代表) 延原 次美 氏  
(構成) 地域安全推進員 10人
- **活動区域**：加美小学校区（加美駐在所管内）
- **主な活動内容**
  - ・ 商店等（スーパーマーケット、コンビニ）への立ち寄り、啓発活動
  - ・ 自転車盗難防止活動
  - ・ 通学路における子どもの見守り、安全確保
  - ・ お祭り等における少年犯罪防止活動
  - ・ 地域住民に対する防犯意識の高揚・啓発活動
  - ・ 定期的自主青パトによるパトロール
  - ・ 青少年の健全育成・非行防止活動
  - ・ 有害図書の浄化活動

## 地域の安全は地域で守る！

年の瀬迫る昨年12月12日(金)に、美咲警察署管内地域安全推進員協議会加美班のメンバーが、JR亀甲駅に集まりました。犯罪ゼロの日(毎月第2金曜日)に駅での啓発活動や、スーパーマーケット・コンビニ・亀甲商店街の見回り、自転車盗難防止活動を行っているのです。

亀甲駅に着いた学生や地域住民を「お帰りなさい。」と温かく改札で迎え、ティッシュとチラシを配布して啓発活動をしました。「今日はスーパーから行ってみよう。」「危険箇所はないかな。」などと注意を払いながらパトロールに出発しました。地域内の少年のたまり場、犯罪危険箇所等を把握している会員たちが徒歩で約1時間のパトロールを実施しています。

隊長の延原さんは「子どもたちを巻き込む犯罪がなくなってほしい。」と願いながら、目を光らせてパトロールをしています。パトロール中にすれ違う学生に、「早く帰ろうで。」「気を付けて帰るんよ。」と一人ひとりに声掛けをしました。学生からも「こんばんは。」という元気なあいさつが返ってきました。

会員同士のチームワークを大切に、「同じ目的の者は一緒にやろう。一人よりも二人。二人よりも三人で。」と隊員の山本さん。これからも隊員同じ気持ちで活動を続けていきます。



## 「パパママ隊」を募集しています ももっちネックストラップを配布します

県内各地で「子ども見守り活動」が活発に行われています。

**子どもたちの保護者であるパパやママも、見守り活動を開始してみませんか？**

### ○ 募集対象

保護者が子どもを送迎している施設（幼稚園、保育所、地域子育て支援施設、児童館、母親クラブ等）単位による、構成員5人以上の団体を募集します。

### ○ 活動内容

1人でも多くの方に「地域の安全を守る」という気持ちを持っていただき、子どもの安全を見守ってもらう活動です。

### ○ 登録方法等

岡山県ホームページ内のキーワード検索で「子ども見守り団体」と入力して検索してご覧ください。

登録された団体には構成員人数分の「ももっちネックストラップ」を配布しています。



## 地域安全マップ講習会に参加しませんか

「地域安全マップづくり」は、子どもたち自身が実際にまちを歩いてマップをつくり、自ら「どのような場所で犯罪が起こりやすいか」を理解して、犯罪被害を回避する能力を身に付けるものです。

岡山県では、平成18年度から岡山県教育委員会、岡山県警察本部との共催により、マップ作製指導者養成のための講習会を開催するなど、地域における防犯意識向上を目的として、「地域安全マップづくり」の普及に向けた取組を進めています。平成27年度の予定について、詳細は以下のとおりです。



### ◆ 場所及び日時

- ① 倉敷会場：平成27年4月18日(土)  
倉敷市立倉敷西小学校(倉敷市中央1丁目21-1)
- ② 津山会場：平成27年4月19日(日)  
津山市立南小学校(津山市昭和町2丁目73-1)



### ◇ Aコース(地域安全マップづくり)

時間	内容
9:50	開会
10:00	講義(地域安全マップの作製指導)
11:00	昼食・休憩
12:00	フィールドワーク(グループで実地調査)
13:00	地域安全マップ作製
14:20	発表
15:30	閉会

### ◇ Bコース(ホットスポットパトロール)

時間	内容
13:00	開会
13:05	講義(地域安全マップを活用したパトロール方法について)
14:30	閉会

○Aコース(地域安全マップづくり)は定員40名を超過した場合、未経験者を優先的に調整させていただきますので御承ください。

- ・なお、Bコース(ホットスポットパトロール)には定員がございません。
- ・Aコース、Bコースを同時に申し込むことはできません。
- ・Aコースでは、実際に地域を歩いて調査します。歩きやすい服装で御参加ください。また、帽子、タオル、水分補給、昼食等も各自でお願いします。
- ・倉敷会場は、耐震工事中により運動場が駐車場として使用できないので、公共交通機関を御利用ください。

### ◆ 参加申込

岡山県暮らし安全安心課のホームページ(<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/22/>)から参加申込書に記載の上、**平成27年4月3日(金)まで**に岡山県県民生活部暮らし安全安心課安全安心まちづくり班宛、申込書の内容を郵送、FAX、電子メールでお申し込みください。

**まち歩きを通して  
地域の安全  
を考えよう!**

講師 立正大学 小宮 佳実 教授

**倉敷会場**  
平成27年4月18日(土)  
倉敷市立倉敷西小学校(倉敷市中央1丁目21-1)  
Aコース 又は Bコース

**津山会場**  
平成27年4月19日(日)  
津山市立南小学校(津山駅から徒歩5分)  
Aコース 又は Bコース

**Aコース**  
地域安全マップづくり(1000~1500)

「地域安全マップづくり」は、実際にまちを歩いてマップをつくり、自ら「どのような場所で犯罪が起こりやすいか」を理解して、犯罪被害を回避する能力を身に付けるものです。講義、フィールドワーク、実地調査を行います。

**Bコース**  
ホットスポットパトロール(1300~1430)

「入りやすく見えない」駐車場や空き地などの犯罪が起きやすい場所を重点的に見守るパトロールです。犯罪者に「レンジャー」を装束、犯罪をあきらめさせることから、犯罪抑止に大きな効果があるパトロール方法を講義で学びます。

※費用は2か月を予定しております。

〒700-8570 岡山県 県民生活部 暮らし安全安心課  
電話：086-226-7259  
FAX：086-226-9151  
Eメール：anzenanshin@pref.okayama.lg.jp

### お問い合わせ



岡山県 県民生活部 暮らし安全安心課  
〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号

電話 086-226-7259  
FAX 086-226-9151

- <メールアドレス> anzenanshin@pref.okayama.lg.jp
- <ホームページ> <http://www.pref.okayama.jp/> (岡山県) ▶ 組織で探す ▶ 県民生活部『暮らし安全安心課』
- <フェイスブック> <http://www.facebook.com/kurashianzenanshin>